

クラブインフォメーション



発行:(公財)鳥取県体育協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内
TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 平成30年2月 第102号

総合型地域スポーツクラブ指導者派遣事業inにちなんスポーツクラブ

平成30年1月28日(日)、日南町総合文化センターで「総合型地域スポーツクラブ指導者派遣事業inにちなんスポーツクラブ」を開催しました。

今年度2回目となる研修会は、設立準備中の当クラブの立ち上げに向けてのコーチングをしていただきました。

午前の部は、総合型クラブは必要か、必要でないかを参加メンバーに問いかけ、立ち上げに向けての意思があることの確認をしました。

総合型クラブを通して何をしようとしているのか、立ち上げることや運営のことだけを考えてはダメ。日南町の課題が総合型クラブによって解決できるのであれば立ち上げればよい。日南町で今何が起っていて、どうすればいいのか考える。

人が動く時は、①危機感を感じた時、②楽しいことをする時、③メリットがあるとき。

人が幸せになるための7つの習慣(①主体的に生きる、②ゴールを決める、③優先順位を間違えない、④Win-Win となる合意の形成、⑤まず理解し、そして理解される、⑥相乗効果を上げる。(新たなアイデアを生む)、⑦刃を研ぐ(今までの世代で得た良いものは残し、悪い習慣は改め、次の世代に引き継ぐ))を教えていただき、自分が幸せにならないと、人を幸せにできない。

クラブを車に例え、エンジンはスタッフの本気・覚悟・勇気であり、思いを共有できれば真っすぐに進んでいくことができる。

午後の部は、住民に何を伝えたいか、クラブが何をしようとしているのか、何をすればクラブに来てもらえるのか、欲しているもの・足りていないもの・ターゲットは誰なのかを考える。

クラブの事業内容・組織・予算・事務所・使用する会場など、立ち上げに必要なことを教えていただき、後はビジョンを具体的にし、思いを共有して立ち上げるだけ。今日のメンバーで協議を重ねて立ち上げに向けて頑張ってください。

今日の研修会で、最初は総合型クラブのことを全く理解できていなかった参加者も、榎講師の何故何故攻撃で思いや意見を引き出し、根本を考えてもらうことができました。

また、総合型クラブに対する疑問や立ち上げに向けての方法等、自分たちがこれからしなければならない事が理解・納得していただけました。

これから、協力団体を作りながら、地域全体が笑顔になれる日南町を目指してクラブ立ち上げに向けて動いていただけたらと思います。



研修会風景



グループで思いをぶつける



真剣に取り組む



クラブ紹介コーナー

スポーツしよい大山*バドミントン教室

平成30年1月13日(土)、名和農業者トレーニングセンターでトップアスリートによる「バドミントン教室」が開催されました。

「Cheerful鳥取」の山本明良氏(部長)、高橋真理選手、山本理香選手、高瀬秀穂選手、岸田洋子選手、峰郁美選手の指導の下、大山町のスポーツ少年団等の子どもと大人数名の30名が、ウォーミングアップ(ステップ中心)・シャトル投げ・ストローク練習・レベル別の練習を行いました。

ウォーミングアップでしっかり身体をほぐした後のストローク練習では、2人組になりドライブ・ドロップ・カット・プッシュ・クリア・スマッシュ・ヘアピンのやり方を丁寧に教えてもらいながらやりました。

レベル別では、それぞれのコートに指導者が付き、ストローク練習を重点的に行うグループや、制限付きフリーで対戦しポイントが多い人(上位)を決めるグループなど、盛りだくさんの内容で行われました。

最後に、選手とのスペシャルマッチと、選手同士のエキシビションも行われ、大変盛り上がりました。

選手同士のエキシビションを見て感動し、トップアスリートの選手から指導を受けたり、試合をしたりと、子ども達にとってとても貴重な体験になりました。

※「Cheerful 鳥取」は、バドミントンを中心としたスポーツの普及及び育成に関する事業を行い、スポーツ文化の振興及び子どもの健全育成に寄与する団体です。

連絡先
スポーツしよい大山事務局
権田 直樹
TEL:0859-54-5212 FAX:0859-54-5217



山本選手から指導を受ける



スマッシュ練習



選手と試合



「鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業」



松本亜矢さん



ヒップホップダンス

平成30年1月13日(土)、鳥取県立倉吉養護学校体育館で「鳥取発！スポーツでつながる共生社会充実事業」(県特別支援教育課委託事業:学校拠点型)を開催しました。

鳥取県立倉吉養護学校の在校生・OB・保護者・先生・地域の方が参加し、松本亜矢さん指導の下、ヒップホップダンス(先月に引き続き2回目)を教えていただきました。

2回目ということで、皆さん少し復習しただけで一連の動きを思い出し、すぐに音楽に合わせてカッコよく踊ることができました。

全員で何度か踊った後に、誕生月で分けたグループでダンスを披露し、拍手をもらい大満足でした。最初は恥ずかしがっていた生徒も、見せる楽しさを感じてもらえました。

ヒップホップダンスはとても人気があるので、来年度は回数を増やせるよう早い時期から事業実施ができると思います。

※ヒップホップダンスは、アップ(上で音を取る)・ダウン(下で音を取る)の2種類の音の取り方が基本になっているのが特徴、あたかも走っているようにみせる「ランニングマン」、足をつま先とカかとを支点に開いたり閉じたりする「クラブステップ」が代表的なステップです。

連絡先
一般社団法人 山陰リンクの会事務局
杉谷 哲治
TEL・FAX:0858-28-3939

スポnetなんぶ*堤 尚彦講演会

平成30年1月20日(土)、南部町役場天萬庁舎3階まんてんホールにて、堤 尚彦氏(おかやま山陽高等学校野球部監督)による講演会が開催されました。

町内の中学生・先生・一般の人など、50名が参加し、「一番大切なものは、何か」というテーマでお話いただきました。

今まで多くの人と出会い、その縁が自分を次の道へ導いてくれて今の自分がある。

挨拶の意味は心を開いて人に近づくこと。“孝”は家族間の普遍的な愛情、“仁”は“孝”を他人に対しても持つこと、“礼”は“仁”を目に見える形にすること。お互いのことをよく知り、目に見える形で愛情表現することが大切。

立志(こうなりたい)ができる人は無我夢中で突き進めばいい。立志が具体的にできない人は心を開いて、挨拶と笑顔で、頼まれたことはすぐやる。出会いや縁を大切にする。時間を大切にする。ワクワク・ドキドキすることをやる。

200~300mの高さの山と、富士山に登るのに同じ準備と覚悟でいいのか。夢の高さに向かって登っていくだけの準備と覚悟をしない限りその山には登れない。だから中学生の内に準備と覚悟をしておくこと。

叶うと言う字は、口に十と書く。願いは口に10回出さないと叶わないから、心の中に思っていることをどんどん口に出す。

笑われたり、馬鹿にされたことは自分の力になる。恥ずかしいと思わずやりたいことをやれば思いは必ず叶う。

「世界の笑顔のために」2011年から年2回発展途上国へ野球の中古道具を送り続け活動は広がっているが、より多くの人に知ってもらいたい。そのためにも甲子園に行くことでもっとこの活動を知ってもらいたいと思っている。

普段当たり前だと思っていることができていないことに気づかされ、これからの人生の参考になり、前向きな気持ちになれるお話でした。

※講師紹介:大学卒業後に青年海外協力隊(野球)で、ジンバブエ・ガーナに赴任、その後インドネシア代表チームのヘッドコーチを経て、現在は、おかやま山陽高等学校野球部監督。昨年夏、同校を甲子園初出場に導く。



堤 尚彦 監督



まんてんホール



堤先生と中学生で記念撮影

連絡先
スポnetなんぶ事務局
板 真悟
TEL:0859-66-5400 FAX:0859-66-2901